

杉並区の外国ルーツの家庭の暮らしと子どもの学び に関する調査報告書

ルーテル学院大学教授 原島博

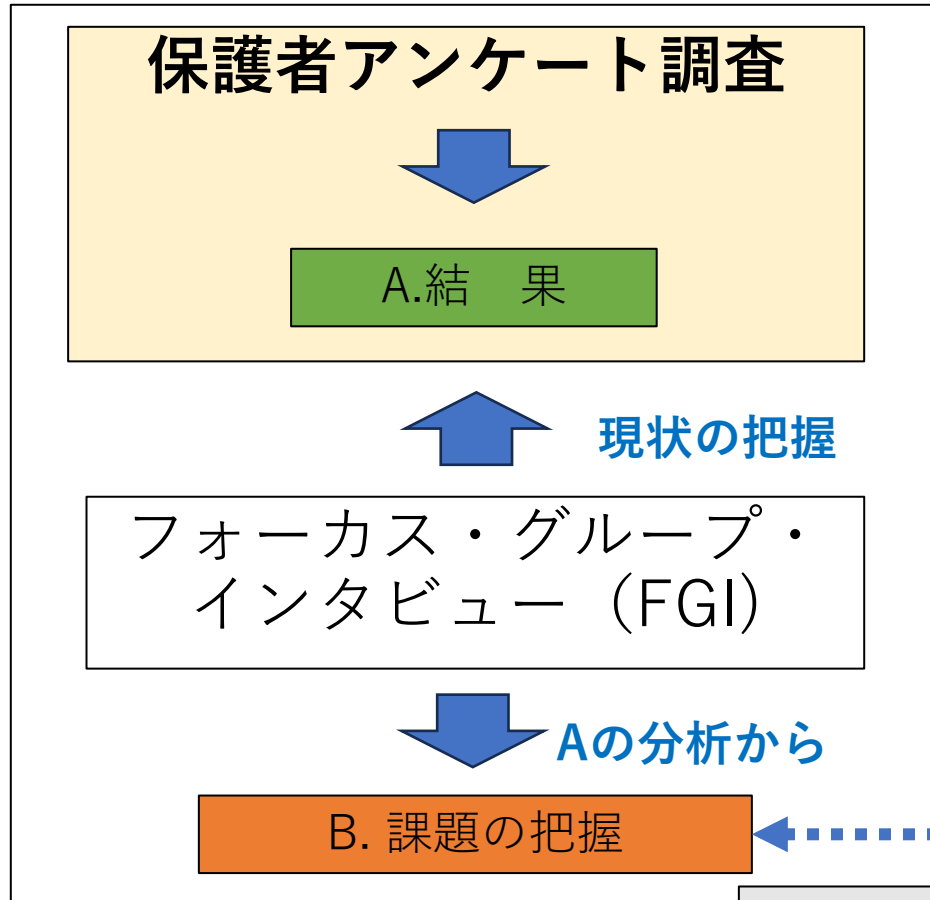
2025年3月

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

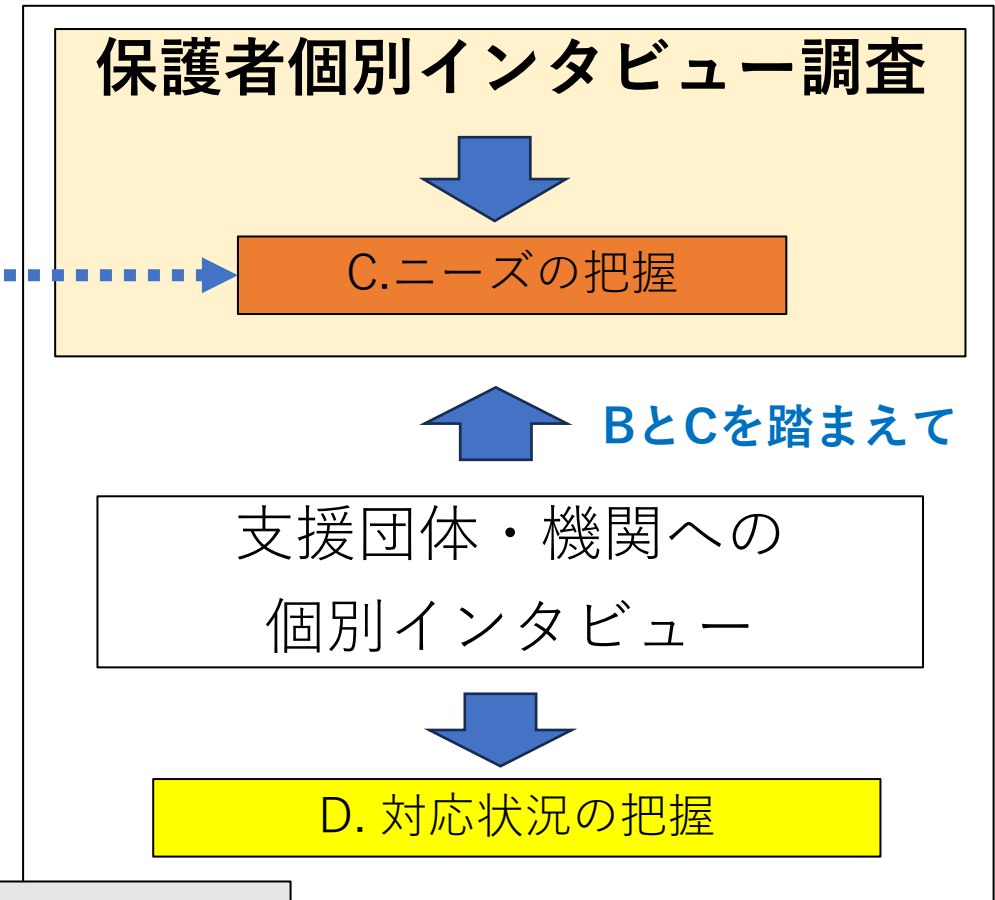


杉並区の外国ルーツの家庭の暮らしと子どもの学びに関する調査 研究デザイン

第1部



第2部



課題からニーズの把握

地域での取り組みへの提言
(調査研究チーム)

第1部 保護者アンケート調査の概要

1. 目的

外国ルーツの子ども(16歳未満)の親の意識-「言葉」「生活」「居住」「教育」について現状を把握する。

2. 対象

杉並区に居住する外国ルーツの子どもの保護者

3. 実施方法

Microsoft365FORMSを用いて、配布、回収を実施。

4. 調査の周知方法

協力者／団体による該当者への依頼

5. 有効回答数51件

第1部 保護者アンケート調査(回答者の国籍)

回答者の国籍	N	%
1. 中国	1	2%
2. 韓国	1	2%
3. ネパール	20	39%
4. ベトナム	1	2%
5. 台湾	6	12%
6. アメリカ	3	6%
7. フィリピン	3	6%
8. イギリス	4	8%
9. 日本	1	2%
10. エルサルバドル	2	4%

11. ヨーロッパ	2	4%
12. インド	1	2%
13. イタリア	1	2%
14. メキシコ	1	2%
15. ニュージーランド	1	2%
16. アイルランド	1	2%
17. オーストラリア	1	2%
18. カナダ	1	2%
総 計	51	
「ネパール」 (39%) が最も多く、 「台湾」 (12%) の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(言葉)

表1 あなたが日常会話で使用している言語について (複数回答)

問1 あなたが日常会話で使っている言語を教えてください。	N	%
日本語	31	33%
英語	28	30%
ネパール語	17	18%
中国語	8	9%
スペイン語	4	4%
フィリピン語	2	2%
韓国語	1	1%
ベトナム語	1	1%
ヒンディー語	1	1%
総計	93	
日本語(33%)が最も多い。次に、英語(30%)の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(言葉)

表2-1 現在の日本語の学び

質問2 あなたは現在、日本語を学んでいますか。	N	%
1. 学んでいる	25	49%
2. 学んでいない	26	51%
総計	51	
学んでいる（49%）、学んでいない（51%）、ほぼ半々になる。		

表2-2 日本語の学び方（複数回答）

質問3 質問2で1に回答した人（現在、日本語を学んでいる人）にお聞きします。あなたは日本語をどのような方法で学んでいますか。	N	%
1. 自分で勉強している	8	27%
2. 家族に教えてもらっている	6	20%
3. ボランティアの日本語教室に通っている	6	20%
4. 語学学校（日本語学校）に通っている	5	17%
5. 日本人の知人・友達に教えてもらっている	3	10%
6. 通っている学校や大学で教えてもらっている	2	7%
総計	30	6

第1部 保護者アンケート調査(言葉)

表3 来日当初の日本語レベルの認識について

質問4 あなたは初めて日本に来た時、日本語はどれくらい出来ましたか。 (A～Dそれぞれについて、1～4に○は1つだけ)	A 話す	B 読む	C 書く	D 聞く
1. よくできる	11	11	11	15
2. まあまあできる	7	8	7	6
3. あまりできない	22	19	19	20
4. できない	11	13	14	10
総計	51	51	51	51

表4 今の日本語レベルの認識について

質問5 あなたは今、どのくらい日本語ができますか。 (A～Dそれぞれについて、1～4に○は1つだけ)	A 話す	B 読む	C 書く	D 聞く
1. よくできる	22	20	18	28
2. まあまあできる	16	14	11	13
3. あまりできない	13	13	19	10
4. できない	0	4	3	0
総計	51	51	51	51
初来日からしばらくして、全体的にできるようになっており、特に「話す」と「聞く」はできるようになっている者が多い。				

第1部 保護者アンケート調査(言葉)

表5 日本語を学ぶ意欲

質問6 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。	N	%
1. 積極的に学びたい	18	35%
2. 機会があれば学びたい	18	35%
3. 無料なら学びたい	8	16%
4. あまり学びたくない	2	4%
5. 学びたくない	0	0%
6. 学ぶ必要がない	5	10%
総計	51	
「学びたい」が大多数（86%）を占めている。		

表6 日本語を学びたい場所について（複数回答）

質問7 あなたは今後、日本語を学ぶとしたら、どのようなところで学びたいですか。	N	%
1. 無料で学べる教室や学校	30	36%
2. 費用が安い公的機関やボランティアの教室	22	26%
3. 自宅や勤務先から近い教室	21	25%
4. 子どもを預かるサービスのある教室や学校	6	7%
5. 費用が高くてもしっかりと学べる学校	5	6%
総計	84	
「無料で学べる教室や学校」（36%）が最も多く、「費用が安い公的機関やボランティアの教室」（26%）、「自宅や勤務先から近い教室」（25%）の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(生活)(居住)

表7 生活の満足度について

質問8 あなたはいまの生活に満足していますか。	N	%
1. 満足している	16	31%
2. やや満足している	18	35%
3. どちらともいえない	9	18%
4. やや不満がある	4	8%
5. 不満がある	3	6%
6. わからない	1	2%
総計	51	
満足している者（66%）が多い。		

表11 これから杉並区で居住する予定

質問12 これからどのくらいの期間、杉並区に住む予定ですか。	N	%
1. 1年未満	3	6%
2. 1年～4年	7	14%
3. 5年～9年	9	18%
4. 10年以上	17	33%
5. その他（例：帰国の予定がある）	1	2%
6. わからない	14	27%
総計	51	
「10年以上」（33%）が最も多く、「わからない」（27%）、「5年～9年」（18%）の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(生活)

表8 生活の困りごとや悩みについて（複数回答）

質問9 生活の中で、困っていることや心配なことがありますか。	N	%
1. 日本語の不自由さ	27	16%
2. 母語の情報の少なさ	8	5%
3. 外国語の表示の少なさ	6	4%
4. 病気になったときの対応・病院で外国語が通じない	19	12%
5. 行政の窓口で外国語が通じない	0	0%
6. 区役所への自分の意見の伝え方	0	0%
7. 在留資格手続きのこと	0	0%
8. 税金のこと	11	7%
9. 年金のこと	9	5%
10. 住まい探し	14	9%
11. 仕事探し	11	7%
12. ごみの出し方	1	1%

13. 介護・福祉サービスの利用	3	2%
14. 出産・育児のこと	4	2%
15. 子どもの教育のこと	20	12%
16. 自分または家族の健康	5	3%
17. 結婚・離婚	1	1%
18. DV（配偶者などからの暴力）	1	1%
19. 仕事・職場での人間関係	4	2%
20. 近所の付き合い	6	4%
21. 災害時・緊急時の対応	8	5%
ない	6	4%
総計	164	
「日本語の不自由さ」（17%）が最も多く、「子どもの教育のこと」（13%）病気になったときの対応・病院で外国語が通じない」（12%）の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(生活)

表9 生活の困りごとや悩ごとの相談先（複数回答）

質問10 生活の困りごとや悩み事は誰に／どこで相談しますか（困りごとがあるときなどを含む）	N	%
1. 行政の相談窓口(国・都・市・区など)	9	10%
2. 杉並区交流協会の窓口	6	7%
3. 会社の人、学校や寮の先生や職員	7	8%
4. 近所に住む日本人	5	5%
5. 日本人の友人・知人（3位）	12	13%
6. 同じ国出身の友人・知人（2位）	18	20%
7. ボランティア団体	5	5%
8. 大使館・領事館	5	5%
9. 家族（1位）	19	21%
10. 相談する相手がいない	6	7%
総計	92	
「家族」（21%）、「同じ国出身の友人・知人」（20%）の順になる。		

表10 日常生活に必要な情報の入手方法（複数回答）

質問11 ふだんの生活に必要な情報はどこで手に入れますか。（困りごとがあるときなどを含む）	N	%
1. ホームページ	17	35%
2. 知人・友人	13	27%
3. SNS	12	25%
4. 杉並区役所の窓口	5	10%
5. 杉並区交流協会の窓口	1	2%
6. 杉並区が発行しているくらしの便利帳	0	0%
総計	48	
「ホームページ」（35%）が最も多く、「知人・友人」（27%）「SNS」（25%）の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(教育)

表12 保育園の利用についての回答

質問13 あなたには、0歳～5歳のお子さんがいますか。	N	%
1. いる（日本で保育所か幼稚園に通っている）	16	31%
2. いる（日本にいたるが、保育所や幼稚園には通っていない）	4	8%
3. いる（日本にいない）	1	2%
4. 0歳～5歳の子どもはいない	30	59%
総計	51	
いない（59%）、いる（41%）になる。		

表13 小・中学校に通う子どもについての回答

質問14 あなたには、6歳～14歳のお子さんがいますか。	N	%
1. いる（日本で公立の小学校または中学校に通っている）	15	29%
2. いる（日本で私立の小学校または中学校に通っている）	6	12%
3. いる（日本で外国人学校に通っている）	7	14%
4. いる（日本にいたるが、小学校や中学校に通っていない）	1	2%
5. いる（日本にいない）	1	2%
6. 6歳～14歳の子どもはいない	21	41%
総計	51	
いる（59%）、いない（41%）になる。		

第1部 保護者アンケート調査(教育)

表14 子どもの日本語能力の認識について（複数回答）

質問15 あなたのお子さんは、日本語がどのくらいできますか。	N	%
1. 日本語での授業を十分理解できる	8	38%
2. 日本語での授業を受けるのは難しいが、日常生活ではあまり困らない	3	14%
3. ふだんの生活で、時々困ることがある	3	14%
4. ほとんどできない	4	19%
5. どのくらいできるかわからない	3	14%
総計	21	
日本語ができると思う者（52%）が多い。		

表15 中学校卒業後の進路について

質問16 問14の日本で学校に通う6歳～14歳のお子さんがあると答えた人にお聞きします。あなたはお子さんが中学を卒業した後、どんな進路に進ませたいですか。	N	%
1. 日本の高校へ通学させたい	13	46%
2. 日本のインターナショナルスクールに通わせたい	10	36%
3. 母国の学校に進学させたい	3	11%
4. 日本、母国以外の学校へ進学させたい	1	4%
5. 進学せず、働いてほしい	1	4%
総計	28	
「日本の高校へ通学させたい」（46%）が最も多く、「日本のインターナショナルスクールに通わせたい」（36%）の順になる。		

第1部 保護者アンケート調査(教育)

表17 子育て・教育相談について（複数回答）

質問18 0～14歳のお子さんがある人にお聞きします。あなたは子育てや子どもの教育について、どんな助けがあったらよいと思いますか。	N	%
1. 子育てや子どもの教育について相談できる場所	14	29%
2. 親子で地域の友達と交流できる場所	7	15%
3. 区役所での手続きのサポート(相談・通訳・同行など)	2	4%
4. 幼稚園、保育所、学校での子どもの様子を知るためのサポート	4	8%
5. 健康診断や医療相談のサポート	5	10%
6. 子どもの居場所(放課後や休日に子どもが安心して過ごせる場所など)	4	8%
7. 子どもへの母語による教科学習サポート	2	4%
8. 子どもへの日本語学習サポート	3	6%
9. 子どもへの日本語による教科学習サポート（宿題や復習など）	3	6%
10. 学校や行政からのお知らせや書類を理解するためのサポート	1	2%
11. 特に支援は要らない	3	6%
総計	48	
「子育てや子どもの教育について相談できる場所」（29%）が最も多い。		

第1部 フォーカス・グループ・ディカッション(FGI)

1. 目的

アンケート結果を理解するため、当事者のグループで意見交換を行い、現状から課題を探る。

2. 参加者

杉並区に居住する6名の保護者

〔中国、台湾、フィリピン、ロシア、カナダ〕

3. 実施方法

アンケート結果を事前に読んできてもらった、会議室にて1時間半程度グループ討議。

4. グループ討議のトピック

- 1)言葉の壁と日本語学習
- 2)子どもの教育と進路選択
- 3)杉並区での生活と今後の滞在予定
- 4)情報アクセスと行政サービスの課題

5. 課題の把握

外国ルーツの子どものいる家庭の現状から課題を把握し5点に整理した。

第1部 アンケート結果とフォーカス・グループ・インタビュー(FGI)

現状の把握

1. 日本語の必要性や学習意欲のある外国人はいる。(表2、表5、表6)

2. 外国人にルーツのある子どもたちには日本語学習の機会はあるが、授業についていけないケースがある。(表14)

3. 日本で高校(インターも含む)まで進学させたい。(表15)

4. 外国人居住者向け生活情報が多言語で提供されていると聞いている。(表9、表10)

5. 身内に相談しているが、日本語の不自由さがある。どこで、何を、どのように相談したらよいか戸惑う／遠慮してしまう。(表9)

課題の把握

1. 外国ルーツの子の保護者の日本語の学習機会の不足や条件が合っていない。

2. 外国ルーツの子どもたちの学校での日本語学習時間は十分でない。(学習言語)

3. 外国ルーツの保護者が参加できる、子どもの教育や進路選択に関する情報や共有の機会が不足している。(表8)

4. 外国人居住者向け多言語生活情報の利用(SNS含む)がしにくい。(表9、表10)

5. 公的な場での相談や地域とつながれない。(区、学校、地域)(表8、表9)

第2部 保護者個別インタビュー調査

1. 目的

外国ルーツの子どもをのいる保護者の経験を聞き、来日経緯、言葉、子育て、仕事、心配・困りごとなどの経験を聞き、ニーズを把握する。

2. 参加者

区内在住:6カ国、8名

〔エルサルバドル、日本、中国、韓国、フィリピン、ネパール〕

3. 実施方法

インタビューガイドを用いて個別インタビュー。1回60分～90分程度。

4. インタビュー協力者のプロフィール

No.	仮名	年齢	性別	国籍	雇用形態	居住期間(インタビュー時点)
1	Cさん	40代	女性	エルサルバドル	パートタイム(飲食)	1年3カ月(2023年4月～)
2	Nさん	50代	女性	日本	パートタイム(サービス)	22年(2022年～)
3	Bさん	30代	女性	中国	主婦	1年4カ月(2023年2月～)
4	Aさん	40代	男性	フィリピン	主夫	3カ月(2024年3月～)
5	Tさん	30代	女性	中国	主婦	1年3カ月(2023年3月～)
6	Mさん	30代	男性	ネパール	フルタイム(飲食)	8年(2016年2月～)
7	Kさん	40代	女性	韓国	パートタイム(心理職)	1年8カ月(2022年11～)
8	Gさん	40代	男性	ネパール	フルタイム(金融)	9年(2015年～)

第2部 保護者個別インタビュー調査

ニーズの把握

1. 日本語学習に関わるニーズ

- (1)家や仕事場から近い。
- (2)時間が合わせやすい。
- (3)負担感のない授業料。

2. 学校教育に関わるニーズ

- (1)教科学習に必要な日本語獲得のための日本語指導(能力に応じた指導内容と時間)をしてほしい。
- (2)保育園から小・中学校にまでの保護者オリエンテーション(入学準備、学校行事、宿題、連絡方法など)があるといい。
- (3)転入学する外国につながる生徒への適応課題への対応(相談支援体制)をしてほしい。
- (4)日本人保護者と外国人保護者の交流の促進をしてほしい。

3. 暮らしの情報・災害・相談のニーズ

- (1)生活する上で知っておくべきこと／知っておいた方がよいことを教えてほしい。
- (2)杉並区の暮らしについて知っておくべきことの情報を知りたい。
- (3)公的制度・サービス(出産・子育て支援、保険、医療、就労、税金、年金制度)を学びたい。
- (4)知りたい公的サービスへのアクセスできるようになりたい。
- (5)災害時に適切な行動がとれるようにしたい。
- (6)相談しやすい窓口がほしい。

4. 交流・居場所のニーズ

- (1)近所に住んでいる人と知り合いたい。
- (2)外国人住民と知り合いたい。
- (3)地域で活動してみたい。

第2部 支援者・機関へのインタビュー調査の概要

1. 目的

日頃、外国ルーツの子どもと保護者に関わる機会のある支援者・関係機関に所属する方への個別インタビューをとおして、外国ルーツの子どもや家族の特徴や課題・ニーズを聞き取り、取り組みの方向性を探る。

2. インタビュー協力者

11団体13名

3. 実施方法

インタビューガイドを用いて個別インタビュー。1回60分程度。

4. 個別インタビュー先の団体・機関と実施日

	団体・機関名	実施日
1	多文化共生センター東京 杉並校	3月26日
2	すぎなみ協働プラザ	3月26日
3	荻窪高校	5月 9日
4	フレンドリースペース(フレスペ)	6月12日
5	馬橋小学校	7月26日
6	杉並区交流協会	7月29日
7	杉並区文化・交流課	7月30日
8	杉森中学校	7月31日
9	杉並区教育委員会	8月 2日
10	杉並区社会福祉協議会	8月23日
11	エベレスト・インターナショナル・スクール	11月28日

対応状況の把握



十分に対応するのが難しい状況

調査研究チーム 全体のまとめと提言

1. 外国ルーツの子どもたちの学校などでの日本語習得の機会を充実させる

2. 外国ルーツの親の日本語習得を支援する

3. 外国ルーツの家庭と学校のつながりを促進する

4. 外国ルーツの人々のための暮らしの情報へのアクセスを支援する

5. 外国ルーツの子どもや家庭の、地域の一員としての交流・参加を促進する